

ピックアップ

堤防も路地もステージに

トリコローレ音楽祭 77団体 観客と一体感

「第18回トリコローレ音楽祭」が8月27日、市内中心市街地で開かれました。ジャズやポップス、ロックなどさまざまなジャンルの全77団体、総勢420人が街なかで音楽を響かせ、のべ4千人の来場者を楽しませました。

毎年8月第4日曜日に行われる音楽祭で、イタリア語の三色旗から引用した「トリコローレ」には「海+人+そして音楽」のテーマが込められています。音楽で石巻を明るく盛り上げていこうと、地元の有志によって平成16年に始められました。

路地や駐車場、堤防の上を含む7カ所にステージが設けられ、プロ、アマチュア問わない出演者の歌や演奏を無料で聞くことができました。コロナが5類に引き下がり制限のない今年は、飲食店をはしごするイベント「ボンバールいしのまき」も同時開催。観客は飲食を楽しみながら声援や拍手を送り、一体感のあるステージを盛り上げていました。

図 トリコローレ音楽祭事務局(株式会社街づくりまっぽう内) ☎23-2109
市観光課(内線3534)



未来の石巻を担う若者から政策提案

4年ぶりの政策コンテスト



「10年後に住みたい石巻はこれだ!~いしのまきを稼げるまちに~」をテーマに高校生、大学生から政策提案を受ける「いしのまき政策コンテスト」がスタートしました。7月に行われたキックオフでは、出場チームがグループワークや市内の施設を見学するフィールドワークを行いました。各チームが考えた政策は、10月29日(日)にかわべいで開催する決勝大会で発表されますので、会場に足を運び、未来の石巻を担う若者からの政策提案をご覧ください。 図 政策企画課(内線4217)



わたしたちの ESG アクション

Sustainable(サステナブル:持続可能な)
Development(ディベロップメント:開発)
Goals(ゴールズ:目標)

SDGs(持続可能な開発目標)は、地球上に住む全ての人々が暮らしやすい社会を将来に引き継いでいくための世界共通の17の目標です。

「いしのまき圏域SDGsパートナー」制度は、SDGsの普及啓発やSDGsの達成に向けた取り組みを行う企業などを登録し、石巻市、東松島市および女川町の2市1町で連携し、SDGsを推進していくものです。令和5年度は、SDGsの取り組みを行う企業・団体などを全6回に分けて、特集で紹介します!

図 SDGs移住定住推進課(内線4224)

第4回

株式会社丸本組

フードバンクいしのまきを通じてフードドライブ活動を行っています。



株式会社アトムズ

現役東大生から学ぶ機会や地域での体験型学習を提供し、質の高い教育と地域の課題解決に取り組んでいます。



菱中建設株式会社

事業継続計画(BCP)を推進し、「住み続けられるまちづくり」に貢献しています。



株式会社西條設計コンサルタント

SDGsへの取り組みの一環として、スマイルサポーターの活動で植栽を行いました。



石巻専修大学

地域との連携強化(SDGs17)を目指し、東京神田で「いしのまき祭り」を開催しました。



津田海運株式会社

「BRING」リサイクルシステムを活用し、旧型の作業着をリサイクルしました。



SDGsの取り組みをぜひ見てね!



SDGsパートナー オリジナルロゴマーク



みんなのた場

サークル仲間 144

石巻少年少女合唱隊

声つないで半世紀
感謝と利他の心育む

地域の子どもたちが石巻中央公民館を拠点に活動している「石巻少年少女合唱隊」は、幼稚園から中学生までの12人が所属し、元気いっぱいの歌声を響かせています。半世紀以上の歴史があり、地域のイベントではよく見かける存在です。その歌声を耳にしたことが多いでしょう。

同合唱隊は、昭和43年に旧市民会館のこけら落としのために、各小学校から選ばれた児童たちが始まりです。



石巻少年少女合唱隊のみなさん

活動はそのまま継続され、ピークには100人以上の子どもたちが合唱隊に所属していました。東日本大震災も乗り越え、他の災害被災地に募金を贈るなど利他の精神も育んでいます。現在は千葉美貴子代表が子どもたちを指導しています。コロナ禍のこれまではイベント参加も自粛していましたが、現在は10月28日(土)に遊楽館である「かなんまつり」の出演に向けて練習を重ねています。千葉代表は

「音楽を通じて周囲の人への感謝、利他の心を育んでいければ」と話します。年長者がしっかりと下の子どもたちをリードすることで絆を深めており、森田莉珠さん(石巻小1年)は「先輩たちと一緒に活動するのがとても楽しい」とこやか。内海良那さん(同6年)は「1年生のころからずっと通っています。みんなが集まれる、週に一度の楽しみになっています」と話しています。これまで1千人を超える卒業生がいるため、隊員の中には、親子2世代で参加する子もいるそうです。隊員の皆さんは「いずれはまさあーとテラスで合唱が披露できたら」と目を輝かせていました。



みんなで楽しみながら歌声を響かせています

選管だより vol.2

10月22日(日)は
宮城県議会議員一般選挙の投票日です!!

●当日投票

とき 10月22日(日)
午前7時～午後8時(一部の投票所を除く)
投票所 自宅に届く入場券に記載された投票所でのみ投票が可能です。

●期日前投票

とき 10月14日(土)～21日(土)
午前8時30分～午後8時(一部の投票所を除く)
投票所 市の選挙人名簿に登録されている人であれば、どこでも投票が可能です。
詳しくは、選挙チラシか市ホームページをご覧ください。

選挙クイズ

Q. 投票所に一緒に連れていける子どもの年齢は?

- ①6歳未満
- ②12歳未満
- ③18歳未満



答えはめいすいくんが持っているよ!投票所の雰囲気や投票方法を見ることができるので、ぜひお子さんと一緒にお越しください!!



市ホームページ

皆さんの貴重な一票を
忘れずに投票しましょう



選挙管理委員会事務局(内線5824)



石巻市立桜坂高等学校 桜坂だより 第39号



こんにちは、桜坂高等学校です。
7月21日、22日に桜坂高校の文化祭である「桜華祭」が行われました。今回は、その様子を紹介します。



7月21日の校内発表では、吹奏楽部や合唱部などの発表、有志団体発表や「ラブコン」「先生クイズ」といった実行委員企画が行われ、大いに盛り上がりました。

22日は4年ぶりとなる一般公開が行われ、各団体の工夫された展示発表や模擬店などを見ていただけたことで、より多くの方に桜坂高校のことを知ってもらえました。



たくさんの方に
来場いただきました。
ありがとうございました。

お知らせ

令和5年度「石巻市立桜坂高等学校同窓会総会」開催
とき 10月14日(土) 午後3時
ところ 石巻グランドホテル
☎ 桜坂高等学校同窓会事務局 ☎22-4421

河北 みんな笑顔の夏祭り

サマーフェスタ・イン・かほく



河北地区の夏の一大行事「サマーフェスタ・イン・かほく」が8月12日、河北総合センターで開かれました。コロナ禍の中止を経て、4年ぶりとなる今年のテーマは「みんなで笑顔・夏祭り」。並んだ祭り屋台の数は、コロナ前の約3倍の規模となりました。軽食やハンドメイド雑貨販売のほか、ビンゴ大会、花火打ち上げなど多彩な催しが繰り広げられ、大勢の来場者が祭りを楽しみました。



Topic of town まちの話題



牡鹿 1500食の炭火焼きに行列

捕鯨の町象徴「鯨まつり」

捕鯨のまちを象徴する夏祭り「牡鹿鯨まつり」が8月20日、鮎川浜のホエールタウンおしか周辺で開かれました。炭火で焼いたツチクジラ肉1500食が無料で振る舞われ、長い行列ができていました。捕鯨船前に設けられた特設ステージでは牡鹿地区内の小中学校による太鼓演奏やソーラン踊りが繰り広げられました。夜には鮎川港で約350発の花火が打ち上げられ、8号玉や水中スターメインなどが華やかに彩りました。



石巻 鯨で料理研修

宮城県家庭科研究会石巻研修会

8月4日、市内高等学校の家庭科教諭の研修会「宮城県家庭科研究会石巻研修会」が県水産高等学校にて開催されました。同校の教諭が調理講師を務め、鯨バーガー、鯨竜田揚げ、ホヤ酢の3品を調理したほか、他の調理方法についての紹介もありました。今回の研修会では、牡鹿地区の外房捕鯨(株)鮎川事業所が協力し、鯨肉提供や捕鯨の現状や鯨肉の特性についての説明を行い、捕鯨と鯨食普及の促進に努めました。



河南 4年ぶりに盆踊り開催

広瀨の盆踊り2023

コロナ禍で4年ぶりとなる「広瀨の盆踊り2023」が8月14日、広瀨小学校の駐車場や体育館でありました。広瀨地区では夏の恒例行事として「広瀨夏祭り」が長年開催されてきましたが、平成30年を持って終了。翌年から「広瀨の盆踊り」として夏祭りをリニューアルさせましたが、翌年以降はコロナ禍で中止となっていました。盆踊りは、体育館に櫓を設置し、音楽を流して地元住民らが夏の風物詩を楽しみました。



雄勝 子ども向け縁日にぎわう

おがつ夏フェス3日間開催

道の駅硯上の里おがつでは8月12~14日の3日間、「おがつ夏フェス2023」が開かれました。施設内に子ども向けの縁日コーナーを設けての輪投げや射的があり、キャラクターバルーンやお菓子といった景品獲得を目指して親子で奮闘していました。夏フェスは「音楽と花火の彩」をテーマとし、民謡歌手の瑞穂あけみさんをはじめ、県内出身の歌手が連日ステージで歌声などを披露。かき氷の早食いやラムネの早飲み大会もあり、両部門とも一等賞を目指して熱い戦いを繰り広げていました。



桃生 4年ぶり読み聞かせの会

サークルが笑顔の贈り物

桃生公民館の読み聞かせサークル「お月とお星の会」(佐藤貴子代表)が8月25日、館内で「えほんとおはなしの会」を開きました。コロナ禍は開催を見合わせており、今回が4年ぶりです。5人の会員が大型絵本を読んで聞かせただけでなく、手遊びや全身を使った体操を通して集まった地域の親子を楽しませました。会の最後にはお土産として折り紙で作った朝顔や箱を渡し、子どもたちは笑顔と一緒に持ち帰りました。



北上 生き物を探してみよう!

生きもの仲良し大作戦

北上小学校の2年生が生き物への理解を深めるために「生きもの仲良し大作戦」を行いました。児童たちが田んぼ脇の水路に入って生き物探しを始めると、カエルやザリガニ、ドジョウなどを発見し、捕獲しました。その後、児童たちは講師の方から、水路に生息している生き物の特徴や飼育方法を、実際に捕獲した生き物を見ながら解説してもらい、理解を深めていました。

